

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

七宗町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

岐阜県加茂郡七宗町

3 地域再生計画の区域

岐阜県加茂郡七宗町の全域

4 地域再生計画の目標

本町では、昭和 60(1985)年にわずかな人口増加がみられ 6,527 人となりましたが、それ以降は、減少が続いており、平成 27(2015)年の国勢調査人口では 3,876 人となっています。この要因としては、出生数の低下、町外への転出超過が挙げられます。また、少子高齢化の進行もみられ、平成 27(2015)年では、年少人口が 341 人(8.8%)に対し、老年人口は 1,620 人(41.8%)となっています。

将来的には、さらに減少が見込まれ、平成 27(2015)年に対して、令和 22(2040)年に 1,958 人(50%減)、令和 42(2060)年に 895 人(77%減)になるものと考えられます。

現在の状況が続く場合、過疎化の進行による土地の荒廃(耕作放棄地や荒廃森林の拡大)、労働人口の減少による地域産業の衰退、消費の減少による商店等の消失、高齢者の増加、生産年齢人口の減少による医療・福祉分野の人材不足、社会保障費の増大、地域活動の担い手不足や地域コミュニティの希薄化、伝統文化の喪失、更には地域社会そのものの存続危機等が懸念されます。

こうした現況、将来予測に対し、本町では結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現を図り自然増につなげます。また、移住を促進するとともに、安定した雇用の創出や地域を守り活性化するまちづくり等を通じて、社会減に歯止めをかけます。人口減少を抑制し、令和 22(2040)年に目標人口約 2,700 人を確保するために、以下の 4 つの基本目標を掲げ達成を図ります。

- 基本目標 1 安定した雇用を創出する
- 基本目標 2 新しいひとの流れをつくる
- 基本目標 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 基本目標 4 安心で快適なくらしを守る

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	町内就業率	42.1%	45%	基本目標 1
イ	観光入込客数	19.3万人	30万人	基本目標 2
	人口の社会増減(単年度)	▲72人	▲30人	
ウ	合計特殊出生率	1.37	1.5	基本目標 3
	「子育てや教育のしやすさ」が満足と思う住民割合	67.1%	75%	
エ	「災害に対する安全性」が不満と思う住民割合	34.9%	20%	基本目標 4
	「日常の買い物の利便性」が不満と思う住民割合	77.0%	60%	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例(内閣府)：【A2007】

① 事業の名称

七宗町まち・ひと・しごと創生寄附活用事業

ア 安定した雇用を創出する事業

イ 新しいひとの流れをつくる事業

ウ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

エ 安心で快適な暮らしを守る事業

② 事業の内容

ア 安定した雇用を創出する事業

本町に立地する企業や工場は、経営規模の小さい零細企業であり、生産性の水準が低く、こうした雇用面の不利な条件が若年層の町外転出の要因となっています。また、本町は岐阜県全体と比較して第1次産業の就業人口が多くなっていますが、高齢化や後継者の不足等を背景に産業として縮小の傾向にあります。

人口転出が続く本町では、転出者数を抑制し定住人口の増加を図るため、また、子どもをもつ母親等が近場で働くことができるように、工場誘致や産業振興により安定した雇用の創出を図る事業等を行います。

【具体的な事業】

- ・町民雇用優先事業
- ・町内の求人・求職者の可視化 等

イ 新しいひとの流れをつくる事業

本町では、飛騨木曾川国定公園内の「日本最古の石博物館」や道の駅ロック・ガーデンひちそう」等の施設が観光業の核となっていますが、豊かな自然に囲まれた本町全体が観光資源としての機能を有しています。

こうした本町ならではの利点を生かし、日本最古 20 億年前の石を中心に、全国へ向けて知名度向上を図るとともに、山村留学体験事業等を創設し、山村での生活体験や農業体験等、都会にはない魅力を生かした体験型の観光事業等を展開することで新しい人の流れを創設します。

【具体的な事業】

- ・ゆるキャラレッキーの着ぐるみ製作

・プロモーションビデオ・リーフレットの作成 等

ウ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

全国的に女性の就労率の増加による時間的制約、経済的な要因等を背景に出生率は低迷しており、本町においても少子化が顕著となっています。

こうした状況を改善するため、本町で安心して子育てができるように総括的な支援体制の整備等を推進します。また、経済的な問題等で子どもをあきらめている夫婦が出産に希望がもてるように、支援制度の新設・拡充等を図ります。

【具体的な事業】

- ・町立保育園の保育料負担軽減
- ・奨学金返済の支援 等

エ 安心して快適な暮らしを守る事業

中山間地域に位置する本町においては、災害への備えが重要といえます。特に、高齢化が進行しており、土砂災害による孤立が予測される本町では、コミュニティによる助け合いや備蓄の推進が必要となります。また、高齢化が進行し、買い物等の日常生活について不便さを感じている住民も多くなっています。

そこで、安心して快適な暮らしを守るため、災害対策や日常生の利便性確保等、コミュニティ形成の支援等を促進します。

【具体的な事業】

- ・二世帯以上の同居世帯定住促進
- ・備蓄機能を有する店舗の誘致 等

※なお、詳細は七宗町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標 K P I）

4の数値目標に同じ

④ 寄附の金額の目安

150,000千円（2020年度～2024年度）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度3月に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定し町ホームページで公表する。

⑥ 事業実施期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで

5-3 その他の事業

該当なし。

6 計画期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで